

12 可児市立兼山小学校

学 校 名	可児市立兼山小学校 (校長 西田 倫子)
活動の種類・単位	兼山地区に住む人々とのつながりを作り，高齢化が進む兼山地区を活性化させる。(奉仕)
教育課程上の位置付け	学校行事，総合的な学習の時間，特別活動，教科(生活科)

1 活動テーマ

地域の高齢者とともに明るく元気な兼山をつくろう！

2 主な活動内容

本校のある可児市兼山は，人口約 1,300 人の小さな町で，可児市の中でも少子高齢化が進んでいる地域である。その反面，地域住民同士のつながりは非常に強く，人と人のつながりの温かさが残る地域でもある。その地域に住む児童を，さらに感性豊かな子に育てていくには，地域との連携が重要になる。特に，高齢者を巻き込むことで，さらに強いつながりを作っていけると考えた。そこで，主に以下の3つの活動に力を入れた。

(1) 金管マーチングバンドの演奏活動

本校には，岐阜県で唯一の学校単位で組織する金管マーチングバンドがある。東海大会で賞を受賞できるほどにレベルを高めたその金管マーチングバンドの演奏を，地域のお祭りなどの行事で積極的に披露している(桜祭り，スプリングカーニバル，市民運動会，地区センター祭りなど)。地域の行事は休みの日に行われることが多いが，ほとんど誰も欠席することなく参加しており，児童はそういう場に出られることを誇りに感じている。そんな本校のマーチングバンドを地域の方々も応援してくださっていて，今では，児童の誇り，学校の誇りだけでなく，保護者の，そして地域の誇りになっている。



▲ 地区センターまつり

(2) サロンふれあい交流会

各地域にある公民館で月一回開かれているお年寄りの集まり「サロン」を，全校児童が異学年グループに分かれて訪れる「サロンふれあい交流会」を行った。合唱や紙芝居を披露したり，かるたや福笑いなどで遊んだりして，お年寄りと一緒に楽しい時間を過ごすことができた。参加して下さった方々から温かく接していただき，児童は，お年寄りに喜んでいただける事を自分の喜びとしているようであった。大変温かなほのぼのとした交流会となった。そして交流会後には，参加された方からたくさんの温かなお礼の手紙をいただいた。



▲ サロンふれあい交流会

(3) 招待給食

お世話になった地域の方々を招いて，ランチルームで一緒に給食を食べる招待給食を行った。児童は，少し緊張しながらも，いろいろな話をして楽しい一時を過ごすことができた。また，来て下さった方々からの温かい眼差しを児童は感じ取っているようで，「地域の方々に支えられ見守られているんだ」と実感しているようであった。

子供たちに付いた力	地域や地域の方への愛着が生まれ，児童から地域の方へのあいさつや声かけが非常に増えた。
効果	学校開放日には，自分の子どもや孫がいないにもかかわらず，何人もの方が学校を訪れて下さるようになった。(地域の方がそれだけ学校に愛着を持って下さるようになった。)
今後の方向	本校のような小さな学校は，地域とのつながりが非常に重要になってくる。来年度も，より一層，地域とのつながりを太くしていく活動を行っていきたい。